原小学校コミュニティ・スクールだより

～やさしく 強く やりぬく子～　発行日：令和７年５月 29 日〈 NO.1 〉

第１回学校運営協議会が開催されました

５月 23 日(金)午前９時半より，本年度の第１回学校運営協議会が開催されました。今回は本年度のスタートでしたので，前半は学校長からの学校経営方針の説明と学校運営協議会委員による授業参観，学校の取組の計画説明を行いました。後半は本校で育てたい３つの資質能力のうち，「表現力」と「コミュニケーション力」についてマインドマップを利用したにワークショップ(熟議)を行いました。協議内容は，次の通りです。

○学校経営方針の説明
〈育てたい資質能力〉
① 表現力(伝える力) ②課題解決力(だんどる力) ③コミュニケーション力(やりとりする力)
○授業参観
○学校の取組の計画
・学力向上に向けた取組
・研究推進の取組
・生徒指導の取組
・体力向上，健康・食育の取組
○熟議（表現力やコミュニケーション力をそれぞれの立場でどう育てるか？）

〈協議の中で出された主な質問や意見〉

○(学校経営計画にかかわって)配布資料「学びのスタイル」は，補足と考えてＯＫ？
A: その通りです。補足資料です。

○表現力とコミュニケーション力は重なる部分があるように思いますが，この二つの関係性はどう捉えておられますか？
A:「表現力」は学力的要素が強いと思われますが，最終的には個に戻るもの(伝える力)と捉えています。一方，「コミュニケーション力」の方は相手意識との関係が強く，相手とやり取りする力と捉えています。

○表現力の育成は難しいと思います。例えば語彙力の育成も含んでいますか？
A: はい，それも含みます。６月から朝タイムをスタートさせて，視写を中心にした活動を取り入れ，読み取りの力を育てます。

○左の写真は，「表現力及びコミュニケーション力をそれぞれの立場でどう育てるか」について，約５分間マインドマップ(わたしたちが頭の中で考えていることを視覚的に表現した図）に書いてもらったことを集約しています。それぞれの立場とは，「学校」「家庭」「地域」の大きく３つを意味しています。

学校運営協議会委員の中には，地域の代表の方，PTA の代表の方，学校代表が含まれていましたので，可能な限り自分の立場で表現力(及びコミュニケーション力)を育てるとしたら何ができるかを考えていきました。その結果をまとめて右ページからお知らせします。⇒⇒⇒

◎熟議で出された意見①

表現力

書く力

学校で

・マインドマップを使っての作文
・筆写力(書く速さ)を育てる
・書く機会を増やすための短作文⇒⇒相互評価する
・読書による語彙や表現力の獲得
・辞書の活用　・学級便りの作成

家庭で

・家族への思いを手紙に書く
・宿題を一緒にする
・文字を覚える

→ **頭の中が整理される**

地域で

・相手に何かを伝える(絵・文章)

読む力

学校で

・音読　・読み聞かせ　・読書
・投稿文等を読んでのタイトル付け
・長文を読む
・新聞の活用(読み飛ばし…　概要の把握)

家庭で

・興味のある本をそろえる → 創造力が豊かになる
・電子書籍の整備 → 集中力がアップ
・子ども新聞 → 活字にたくさん触れる

地域で

・情報を得ることを読むことで知る
・何が書いてあるかをまとめる

話す力

学校で

・朝の会・帰りの会でのスピーチ(日直)
・先生に対する言葉遣い
・グループで話す　・２人組で話す
・話すスキルを高める学習の設定
・教職員がモデルとなる
・児童が主体的に話す場づくり

家庭で

・学校での出来事の報告(会話を増やす)
・親子間での話し方…お互いの意見を話し合う
・語彙力を養う
・地域の方と話す
・子どもの話をしっかり聞く

地域で

・お話の機会を作る(場所と機会の提供)
・地域の人に伝える場づくり(感動したこと，嫌だと思ったこと等)

◎熟議で出された意見②

コミュニケーション力
(双方向)

伝える力

学校で
- 聞き手を見て話す
- 日直での経験(司会やスピーチ等)
- グループ討議(目標設定，問題解決等)
- 自分の考えを言葉にして相手に提案する
- 伝えたいと思える必要感のある場の設定
- 伝える場を広げる(学年を解く，職員への積極的対応の場等)

家庭で
- 嬉しい，楽しい，悲しいなどの気持ちを言葉にして相手に伝える
- 家でのルール作り(兄弟姉妹間)
- 余裕をもって聞く

地域で
- 挨拶をすることで，会話に繋がり顔を覚えてもらえる
- 芸術に触れる(絵，踊り，音楽)
- 表現力を培う(IT 技術の利用)
- 言葉をよく知る

聞く力

学校で
- 話し手を見て聞く
- 最後まで聞く
- うなずきながら聞く(＋返事)
- 相手を受け止める気持ち
- 聞き上手になる
- 自分の意見(考え)を主張し過ぎない
- 質問力・理解力・共感力を高める指導
- 比べながら聞く場の設定

家庭で
- 相手が話し終わるまで話さない
- 情報を得る
- 相手の気持ちを理解する

地域で
- 場面提供
- 発表(表現力)
- 専門家を呼ぶ等の機会をもつ
- 相手の話を確認する
- 質問をする(理解度をはかる)

〈保護者や地域の皆様へのお願い〉

今回の CS だよりにて報告しました第一回学校運営協議会の熟議で出されたご意見については，学校では学校でできることについて精選し取り組みますが，家庭でできること，地域でできることについてはそれぞれで精選して取り組んでみていただければ幸いです。

また，この件については今後，学年便りや参観日等で担任から，あるいは PTA として何らかの取り組み依頼の話があるかもしれません。その際にはご協力よろしくお願いします。

総合的な学習の時間スタート！５年生が小倉神社へ行きました

５月 12 日(月)，５年生が秋の学習発表会での総合表現「菖蒲の前伝説」に向けて，伝説に所縁が深い小倉神社を見学しました。現地へは今年も自治協子ども部会の井上順一さんに案内していただき，伝説の歴史的背景や原の自然について詳しく説明していただきました。

今年も神社の鳥居前にて，校歌に歌われている「赤い土」(花崗岩の長年の風化によってできたもの)と西条盆地の水田の泥土の違いについて簡単な実験(写真)を見せてくださり，赤土は水がしみ込みやすく，大雨の際に災害の原因になりやすいことを学びました。

神社では，菖蒲の前のお墓とその周辺にある大小のお墓の辺りに近づいた頃に，本校で篠笛の指導をしてくださっている川口裕子さんが篠笛を演奏してくださいました。菖蒲の前が笛を吹きながら最期の時を迎えたと伝えられている当時の雰囲気を味わうことができました。その後は本堂に奉納されている絵馬の説明を聞いたり，伝説に登場する鵺(ぬえ)の話を聞いたりして，背景となった源平合戦の時代のイメージを膨らませることができました。子ども達は，話を聞きながら熱心にメモを取っていました。